

不妊治療に関する医療機関 状況調査の結果について

平成26年9月

滋賀県健康医療福祉部健康医療課
滋賀県不妊専門相談センター(滋賀医科大学)

不妊治療に関する医療機関状況調査

【調査目的】

近年の少子化に対応した施策の一環として、不妊に悩む夫婦等を対象に専門的な相談指導やカウンセリングを行い、不妊をめぐる自己決定等の支援を行うことを目的に、平成12年度より滋賀医科大学の協力を得て不妊専門相談センターを設置し、平成16年度から不妊で悩む方々の経済的負担の軽減を図る目的で、特定不妊治療（体外受精・顕微授精）にかかる治療費の一部助成を行っている。

こうした中で、県内医療機関（産婦人科）が実施している不妊治療等に関する情報について把握し、不妊で悩む方々に対して、不妊治療に関する医療機関の情報について提供していくことを目的として本調査を実施した。

【実施主体】

滋賀県不妊専門相談センター（滋賀医科大学）
滋賀県健康医療福祉部健康医療課

【調査対象機関および調査対象】

滋賀県内の産婦人科および産科・婦人科を標榜する75か所の医療機関を対象に、平成26年5月に調査を実施した。調査方法は郵送により調査票を送付し、回収を行った。

【調査内容】

- ・医療機関情報、不妊治療の実施、外来診療日等
- ・不妊治療に関する検査・治療内容
- ・患者への対応面について
- ・情報公開の有無 他

【調査結果】

調査票送付数 75か所

調査票回答数 72か所（回収率96%）

- ・「不妊治療」実施医療機関 56か所（実施率 78%）
（うち、情報公開可の医療機関 51か所）
- ・「不育症治療」実施医療機関 25か所（実施率 35%）
（うち、情報公開可の医療機関 24か所）
- ・男性不妊に関する泌尿器科との連携実施医療機関 32か所（実施率 44%）
（うち、情報公開可の医療機関 30か所）

回答のあった医療機関のうち、公開可の医療機関について、施設の概要および治療内容の状況等を取りまとめた。

また、この内容は、関係機関に情報提供を行うとともに、滋賀県ホームページにも掲載を行う予定である。

不妊治療に関する医療機関状況調査【平成26年度】

ふりがな 医療機関名		TEL	
		FAX	
所在地	〒	E-mail	
区分	1. 無床診療所 2. 有床診療所 3. 100床未満の病院 4. 100～300床未満の病院 5. 300床以上の病院		
担当科	1. 産婦人科 2. 産科 3. 婦人科 4. 泌尿器科 5. その他 ()		

問1 不妊治療の実施について、該当する数字を○で囲んでください。

1. 不妊専門外来を設けて実施している
2. 一般外来と分けて実施している ⇒ 問2へお進みください
3. 一般診療の中で実施している
4. 実施していない ⇒ 問9へお進みください

問2 不妊外来診療の診療日等について、ご記入ください。

診療曜日	月・火・水・木・金・土・日			
夜診の有無	あり（曜日 時間帯 ）・なし			
受付時間	①午前 時 分 ～ 時 分 ②午後 時 分 ～ 時 分			
予約制の有無	必要（ ）・不要・その他（ ）			
担当医	診療科	医師名	性別	診察曜日、時間
			男・女 男・女 男・女	

問3 男性不妊が疑われる場合の泌尿器科との連携について、該当する数字を○で囲んでください。

1. 連携がある → {
 - (1) 院内で泌尿器科医の診察を受ける体制がある
（診察曜日、時間： ）
 - (2) 院外の泌尿器科医を紹介している
 - (3) その他（ ）
2. 特に連携していない

問4 不妊治療に関する検査・治療の実施内容について、該当する数字を○で囲んでください。

(検査)

	項目	行っている	行っているが積極的にはしていない	行っていない
1	各種ホルモン検査	1	2	3
2	性感染症の検査	1	2	3
3	精液検査	1	2	3
4	頸管粘液の検査	1	2	3
5	性交後検査（ヒューナーテスト）	1	2	3
6	通気・通水検査	1	2	3
7	子宮卵管造影検査	1	2	3
8	子宮鏡検査	1	2	3
9	腹腔鏡検査	1	2	3
10	抗精子抗体の検査	1	2	3
11	自己抗体の検査	1	2	3

(不妊治療・不育症治療)

	項目	行っている	行っているが積極的にはしていない	行っていない	1件あたりの費用	
1	タイミング指導	1	2	3		
2	内服薬による排卵誘発法	1	2	3		
3	ゴナドトロピンによる排卵誘発法	1	2	3		
4	漢方薬による治療	1	2	3		
5	人工授精	AIH（配偶者間人工授精）	1	2	3	約 円
		凍結精液を使ったAIH	1	2	3	約 円
		AID（非配偶者間人工授精）	1	2	3	約 円
6	体外受精	IVF-ET	1	2	3	約 円
		顕微授精ICSI	1	2	3	約 円
		凍結融解胚移植	1	2	3	約 円
		ZIFTまたはGIFT	1	2	3	約 円
7	卵管形成術	1	2	3	約 円	
8	不育症治療	1	2	3		

問5 患者への対応面の実施状況について、該当する数字および文字を○で囲んでください。

1. 不妊相談を実施 (電話相談・面接相談・メール相談) (無料・有料)
2. 心理面のカウンセリングの実施 (無料・有料)
3. 不妊教室、講演会の実施 (無料・有料)
4. 一般産科受診者と会わないための工夫・配慮
5. ホームページによる案内
6. その他 ()
7. 特に実施していない

問6 不妊についての相談やカウンセリングの資格の有無について、該当する番号を○で囲んでください。

1. 日本看護協会不妊症看護認定看護師
2. 日本不妊カウンセリング学会不妊カウンセラー ⇒ 問7へお進みください
3. 日本不妊カウンセリング学会体外受精コーディネーター
4. その他 ()
5. 特にいない ⇒ 問8へお進みください

問7 問6における有資格者が相談やカウンセリングを行う際の方法で、主に該当すると思われる番号を○で囲んでください。

1. 本人が希望した場合に実施
2. 必要に応じて実施
3. 検査や治療前から実施
4. その他 ()

問8 今回の調査で把握した不妊治療実施医療機関の情報を、不妊専門相談センターの相談者の問い合わせに対して、情報提供していくと共に、情報をデータベース化し、県ホームページに公開することは差し支えありませんか。該当する番号を○で囲んでください。

1. 情報をすべて公開しても構わない
2. 情報の一部は公開しないで欲しい (公開しない部分)
3. 情報の公開はしないで欲しい
4. その他 ()

問 9 不妊への支援対策として県が実施している不妊専門相談センターの設置や特定不妊治療費助成事業に対する要望等ありましたら、ご自由にご記入ください。

問 10 不妊治療全般についてお気づきのことなどありましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力いただき誠にありがとうございました。